

Press Release

2014年 3月 24日

報道関係 各位

ソフトバンク BB の BB フォン課金システムをリプレース

～Oracle RAC の採用で耐障害性向上と運用効率化を実現～

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（代表取締役社長 CEO：阿多 親市、本社：東京都新宿区、以下 SBT）は、ソフトバンク BB 株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：孫 正義、東京都港区、以下：ソフトバンク BB）の運用する BB フォンの課金システム（Call Management System, 以下 CMS）をリプレースし、導入したことをお知らせします。

今回の導入でソフトバンク BB は、CMS のハードウェアとデータベースの両環境をリプレースしました。これにより、システムの機能やパフォーマンスを落とすことなく、耐障害性の向上とコスト削減を実現することができました。さらに、今まで製品ごとに別々になっていたサポートを SBT に一本化したことで、運用負荷も軽減しています。

■ 導入の背景

ソフトバンク BB では、BB フォンの課金データを管理する CMS（Call Management System）を Oracle Database 上で運用しています。

今回、同システムを運用しているサーバの保守切れが迫ってきたことから、リプレースを検討していました。CMS は自社開発のもので、機能面に特に問題点がなかったため、当初はハードウェアのみの入れ替え対応を考えていました。

これに対し SBT は、ハードウェアだけでなく、Oracle Database をバージョンアップし、Oracle RAC（Oracle Real Application Clusters）でインフラを構築することで耐障害性を向上させ、よりリプレースの効果を高める提案を行いました。

CMS は BB フォンの課金業務の中核となるシステムのため、既存システムも冗長構成となっていました。さらに耐障害性を強化しようという積極的な提案内容であったことと、Oracle Database 専門のエンジニアによる手厚く柔軟な対応が評価され、採用されるに至りました。

▼ SBT が提供する Oracle ソリューションについてはこちらをご参照ください。

https://www.softbanktech.jp/service/list/oracle/?cid=20140324_01_pr

SBT ではこれまで、Oracle ソリューションの構築・運用サービスの提供を通じて、お客様の業務を支援してまいりました。

2013年9月には、日本オラクル株式会社より、「Oracle Certification Award」を受賞するなど、Oracle ソリューションを高い技術力と豊富なノウハウでお客様に提供できる体制を整えています。

今後も高品質で付加価値のあるサービスを提供することで、お客様のビジネスの発展に貢献していきます。

『報道関係者様からのお問い合わせ』

管理本部 経営企画部 皆口

TEL:03-6892-3063 Email:sbt-pr@tech.softbank.co.jp

『お客様からのお問い合わせ』

お客様窓口

TEL:03-6892-3154 Email:sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp

■ ソフトバンク BB 株式会社 会社概要

商号 : ソフトバンク BB 株式会社
事業内容 : ADSL サービスの提供、IP 電話サービスの提供
IT 関連製品の流通・販売
代表者 : 代表取締役社長 兼 CEO 孫 正義
所在地 : 〒105-7304 東京都港区東新橋 1-9-1
設立年月 : 2000 年 5 月
資本金 : 1000 億円
URL : <http://www.softbank.jp/corp/group/sbb/>

※記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

『報道関係者様からのお問い合わせ』

管理本部 経営企画部 皆口

TEL: 03-6892-3063 Email:sbt-pr@tech.softbank.co.jp

『お客様からのお問い合わせ』

お客様窓口

TEL: 03-6892-3154 Email:sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp